



ユネスコエコパーク通信

綾・照葉樹林

ロングウオーキングを開催しました！

5月21日、綾の照葉樹林プロジェクトの事業の一環として「綾・照葉樹林ロングウオーキング」を開催しました。町民を中心に23人が参加しました。

コースは照葉大吊橋から川中自然公園までの県道沿い(片道約3.5km)。参加者は5、6人の班に分かれ、ガイドから照葉樹などの植物や昆虫などについて詳しい解説を聞きながら歩きました。森にしかないアリを探したり、アカハライモリやクワガタを発見したりと、思い思いに自然との触れ合いを楽しんでいる様子でした。

川中自然公園では、てるはの森の会が調理したツバキやカキの葉、タケノコなどの天ぷらが振る舞われ、参加者やスタッフは大満足の様子で、新緑に囲まれてゆったりとしたひと時を過ごすことができました。

参加者からは、「鳥のさえずりを聞きながらウオーキングするのはとても心地よかった」「ガイドの解説があつて普段の散策より面白かった」「あまり森を訪れたことがない人にも来てもらって、感動して欲しい」などの感想

がたくさん寄せられました。今後も、綾の照葉樹林プロジェクトや綾の貴重な照葉樹林について、皆さんに知っていただく機会を設けていく計画です。



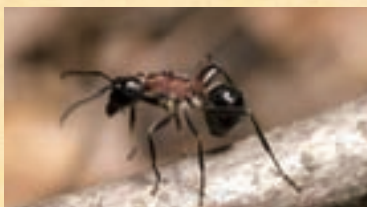
コラム

トゲアリ

照葉樹林に暮らす森林性のアリで、硬い体と背中に4対(8本)のトゲを持ち、鎧よろいをまとったような体をしています。体長は7、8mmとアリの中では大きい方です。

トゲアリの女王はムネアカオオアリなどのほかの大型のアリの巣に侵入し、その巣の女王アリを殺して、巣を乗っ取ります。その時に、捕まえた働きアリの臭いを体に塗りつけて仲間になりきるスパイのようなこともします。

ほかのアリを利用しなければ子育てができないため、全国的に数を減らしている希少なアリでもあります。



トゲアリ



ムネアカオオアリ